

第7回IMSリハビリテーション学会



平成31年1月20日(日)に第7回IMSリハビリテーション学会が『地域をリードするブランド力~協調・協力・競争で磨くIMSの力~』というテーマの元、東京ビッグサイトで行われました。当院スタッフの渡邊係長と本間主任が座長を務め、作業療法士の小竹さんが発表しました。スタッフ一同、今回得た知識や技術を患者様に還元していきます。

Ortensia vol.13  
あじさい  
イムス横浜狩場脳神経外科病院

『あじさい~Ortensia(イタリア語)~』の由来は病院脇に咲いていて、花言葉に【辛抱強い愛情】【家族の結びつき】とあります。花言葉の通り、職員一丸となって深い愛情をもって接していきます。



<第13号によせて ~箱根駅伝からのスタート~>

新年あけましておめでとうございます。  
イムス横浜狩場脳神経外科病院で新年と言いますと、やはり箱根駅伝ではないでしょうか。私、生まれも育ちも横浜で今年40歳になりますが、3年半前に当院で勤務するまで箱根駅伝を生で見たことがありませんでした。当院に来て初めての正月、1月2日に出勤した私は、選手たちの迫力ある走りや沿道の声援にとっても感動したことを覚えています。以来、毎年1月2日は病院に出勤して(もちろん、仕事を中心ですが)仕事の傍ら選手たちの熱い走りを見ることで、今年も1年頑張ろうと決意を新たにしております。さて、スポーツ選手と薬の関連で取り上げられるものの1つにドーピングがあります。最近では使用薬物の制限が厳しく風邪薬を飲んだだけなのにドーピング検査で引っかかってしまい、失格になる選手もいます。2020年の東京オリンピックではドーピングで失格する選手をなくしたいものです。薬剤師として競技への関わりのひとつにスポーツファーマシストという資格がありますが、ご存知でしょうか。これは選手やコーチなどの関係者にドーピングなどの知識や情報を提供して禁止薬物を誤って服用することを防いだり、不正に禁止薬物を用いるのをチェックする(アンチドーピング)ことで、スポーツを公正な競技として成り立たせるために必要な薬剤師の資格であり、特定の薬に深い知識を持っているいわばスペシャリストな薬剤師であります。これに対して幅広く薬に対する知識を持っている薬剤師をジェネラリストと呼びます。当院は脳神経外科ですので、脳疾患に関わる薬のスペシャリストであると共に、薬剤師としてはまずジェネラリストであるべきだと考えています。そのため、当院薬剤師は生活習慣病の薬や小児科の薬、妊婦・授乳婦における薬の服用など、脳疾患以外の薬についての相談も責任を持ってお答え致します。是非お気軽にお声がけください。



薬剤部長 飯塚真至

餅つき大会



平成30年12月27日(木)に毎年恒例となっている餅つき大会を行いました。河本脳外科部長の気迫のこもった餅つきは福を呼び込む力強いものでした。つきあがったお餅はリハビリテーション科の福留技師長によるフルーツアレンジや定番のあんこ・きなこ・ずんだ・磯部・大根おろしなどつきたてで、やわらかいお餅を職員・患者様・ご家族様と一緒にほおばりました♪

編集後記

新年あけましておめでとうございます。年末年始はイベントが盛りだくさん！遊ぶときはしっかり遊び、仕事の時はしっかり働く。オンオフを切り替えて皆様に最大限の医療を提供していきますのでよろしくお祈りします。  
広報委員 リハビリテーション科 中島・山中



日本脳神経外科学会認定専門医研修施設 日本神経学会認定専門医研修施設 日本ドック学会認定施設  
医療法人社団 イムス横浜狩場脳神経外科病院 明芳会  
IMS YOKOHAMA KARIBA HOSPITAL OF NEUROSURGERY

〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町218番地9号  
TEL 045-721-3131 / FAX 045-721-3113

IMSグループからのお知らせ  
医療・介護のことでお悩みはありませんか？  
IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。  
来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください。  
0800-800-1632 03-3989-1141 (代電)  
イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をぜひご覧ください。  
http://www.ims.gr.jp/gscenter/

# くたかけ 忘年会



平成30年12月11日(火)に忘年会をインターコンチネンタルホテルにて行いました。谷井院長の挨拶に続いて、本部から来賓として清水業務本部長より1年間の職員への労いの言葉があり、櫻井看護部長の乾杯の音頭で会が開催致しました。

今年もリハ科の新人による余興、くたかけ委員による豪華プレゼント抽選会などが行われ大変盛り上がり、平成最後の忘年会が閉会しました。

## キャンドルサービス



平成30年12月7日(金)

恒例のキャンドルサービスを行い、看護師・リハビリスタッフ・MSWの代表者1名ずつが灯の誓いを行いました。クリスマス会では、各階の病棟師長・手術室師長・病棟事務の8名がハンドベルでクリスマスソングを披露し、アンコールの声が上がるほどの盛り上がりとなり、患者様とともに楽しいひと時を過ごすことができました。



## 第11回IMS看護学会

変化の時、看護・介護の不变性 ~温もりのあるケアの提供~

平成30年10月27日(土)に、第11回IMS看護学会が東京ビッグサイトTFTホールにて開催されました。当院からは、回復期リハビリテーション病棟看護師、難波さんが排泄支援評価表を用いた「自立排泄再獲得に向けた取り組み」をテーマに発表を行いました。排泄支援評価表を活用することで、スタッフの経験年数に関わらず統一したアセスメントが出来ると感じます。今後も、排泄支援を含め退院に向けて患者様・ご家族の意向にそった介入が出来るように努力いたします。

